

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0305	政策名	芸術文化の振興	施策主管課	文化財課	課長名	鈴木 直明
政策の目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます						
施策No	04	施策名	民俗芸能の伝承	関係課名			
施策の目指す姿	民俗芸能への理解が深まり、伝承活動を活発に行っています						
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内には、ユネスコ無形文化遺産に登録された早池峰神楽をはじめとして、数多くの民俗芸能が伝承されていますが、多くの団体において少子高齢化等による後継者不足が進んでおり、伝承に苦慮しています。 民俗芸能団体からは、伝承への意識づけと練習するきっかけとなる披露の機会を増やしてほしいとの意見があります。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の民俗芸能保存会と共に、民俗芸能を伝承する人材の確保・育成策を検討する必要があります。 民俗芸能を発表・披露する場を増やす必要があります。 							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 多くの小中学生に興味をもってもらうため、さらに小中学校への民俗芸能鑑賞会のPRに努める必要がある。 民俗芸能団体へ発表機会を提供し、民俗芸能の普及・保存伝承・後継者育成を図るため郷土芸能鑑賞会等を開催する。 活動に必要な用具の修理や新調に要する経費への補助制度の周知に努めていく。

反映状況

<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は①大迫小（大償神楽）、②八幡小（八幡鹿踊）、③矢沢中（胡四王神楽）、④笹間第一小（笹間大乘神楽）で「民俗芸能の出前授業」を実施し、小中学生が臨場感のある踊りに直接触れることができた。 ①みちのく神楽大会、②郷土芸能鑑賞会、③古民家活用郷土芸能鑑賞会、④青少年芸能フェスティバル、⑤倉沢人形歌舞伎の5公演を開催した。 各団体へ文化庁の補助金を周知し、計18団体が用具や衣装の修理・新調を行った。
--

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 民俗芸能の伝承支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民俗芸能団体の活動状況の調査と要望に応じた支援 <ul style="list-style-type: none"> R5 1/29に意見交換会（高校で民俗芸能に取り組む生徒）を開催 国庫補助事業の団体への紹介、申請事務、精算事務の補助[R3.1月新設の「地域文化財総合活用推進事業（地域の伝統行事等のための伝承事業）」] ○民俗芸能の発表の場や伝承活動の場の確保 <ul style="list-style-type: none"> 小中学校での民俗芸能鑑賞会の開催（4校実施） 民俗芸能公演会の開催（5公演開催）従来の4公演+1公演（倉沢人形歌舞伎）を開催。 ○公演会情報等の市民へのPRの推進 <ul style="list-style-type: none"> 5公演の開催については、広報やホームページで市民にPRした。

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
郷土芸能団体数	地域ぐるみで伝承・保存に努めることが重要であることから、地域で実際に郷土芸能伝承や保存活動している状況を表す指標	花巻市郷土芸能保存協議会、花巻地方神楽協会、花巻市文化団体協議会の加盟団体より把握する。	団体	目標値	96.00	96.00	96.00	96.00	96.00	
				実績値	96.00	96.00	96.00	96.00		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<ul style="list-style-type: none"> ■成果指標「郷土芸能団体数」…【達成度a】 ・各団体が地域に伝わる郷土芸能への強い思いが団体数の維持につながっている。 ・地域においても地元の郷土芸能を大切にしていこうとしている。

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか	
・なし	
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか	
(民俗芸能支援事業) ・校長会議を通じて、民俗芸能鑑賞会をPRしていく。 ・用具等の修理・新調への費用支援の要望が強く、引き続き支援が必要である。 ・公演実施、開催費用への支援の要望があり、支援が必要である。	
新たに取り組むべき事業はないか	
・なし	

5 施策の総合的な評価

課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体の少子化・高齢化により後継者の確保・育成が各団体の課題である。 ・団体の発表の機会の確保やコロナ禍により停滞した活動（練習や公演など）の復活が課題である。 ・用具や衣装にかかる費用の負担を軽減していく必要がある。 	
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・花巻市郷土芸能保存協議会員間の共通の課題として、後継者の確保・育成について、情報交換を行っていく。 ・民俗芸能団体の発表の場である郷土芸能鑑賞会などの公演を引き続き開催していくとともにみちのく神楽大会開催へ補助する。 ・団体からの相談に乗りながら、国庫補助制度や花巻市文化財保存事業費補助金制度の周知をしていく。 	

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	民俗芸能伝承支援事業費	文化財	一致	直結	B
	小中学校での民俗芸能鑑賞会（4校）、学校で民俗芸能に取り組む高校生（4校×2名）との意見交換				